

提出順	8	発言順	8	令和 4 年 9 月 / 日
				(午前・午後) 9 時 / 8 分受領

(3枚中No.1)

令和 4年 9月1日

(宛先) 安曇野市議会議員 平林 明

安曇野市議会議員 小林 陽子

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 4年安曇野市議会 9月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input checked="" type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
質問事項	安曇野が誇るわさびの振興について		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

安曇野を構成する地形を利用し湧水で育てるわさび生産方法は、全国でもここにしかないもので、日本一の生産量を誇っている。伝統的な料理以外に、菓子などにもわさびが使われ、海外でも健康志向や和食ブームを背景に引き合いが増えている。わさび田が広がる風景は安曇野らしい風景で観光客を惹きつける観光資源でもある。しかし、後継者不足や荒廃わさび田の増加は課題であり、安曇野のわさび振興について伺う。

- 「安曇野のわさび」について市長の見解を伺う。
- 安曇野わさびの振興について市は現在どのように工夫をして取り組んでいるか。
- 生産の諸課題を解決し、更に品質を高める必要がある。地域が一体となって、この地に相応しい生産を研究するための研究機関の設立や、湧水や排水に関する課題を解決するための圃場整備などはいかがでしょうか。

提出順	8	発言順	8	令和 4年 9 月 / 日
				午前・午後 9 時 18分受領

(3枚中No.2)

令和 4年 9月 1日

(宛先) 安曇野市議会議員 平林 明

安曇野市議会議員

小林 陽子

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 4年安曇野市議会 9月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input checked="" type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
質問事項	「たくましい安曇野の子ども」を育む学校給食事業について		
質問の要旨（具体的に記載してください） 令和3年2月に文部科学省の学校給食基準が改訂された。地場産物を「生きた教材」と位置付け、自然・文化・産業などへの理解、食への感謝の念の育成などの上で重要である、としており、教育の上でも地産地消に取り組む意義は大きい。「身土不二」といわれるように、その土地でとれたものを旬に食べることは健康な体を作る上でも重要である。味覚の発達は12歳頃がピークと言われ、地場産の食材や郷土の味を学校給食で提供することは、まさに「たくましい安曇野の子ども」を育む大切な要素であると考え、伺う。			
1. 安曇野の学校給食事業の姿について市長の見解を伺う。			
2. 地場産物の使用率について伺う。目標を掲げ、計画化して、作付計画にも織り込み、有機農産物も含めた農業者支援と食材の安定供給の双方を実現可能と考えるがどうか。			
3. 特色を打ち出した学校給食事業を推進し、安曇野らしさのブランド化を図ってはどうか。例えば、友好都市の給食への安曇野産物やメニューの紹介、家庭へのメニューの紹介など。子育て支援の目玉として移住の促進も期待できる。			

提出順	8	発言順	8	令和 4 年 9 月 / 日
				午前・午後 9 時 18 分受領

(3枚中No.3)

令和 4 年 9 月 1 日

(宛先) 安曇野市議会議長 平林 明

安曇野市議会議員

小林 陽子

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 4 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
質問事項	市新市立博物館について		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

平成 27 年に策定された市新市立博物館構想では、15 年～20 年後に新しい博物館を整備することになっている。令和 12 年～17 年がその時期になるが、具体的な検討について進捗を伺う。

1. 検討の進捗と課題はどのようなものか。
2. 博物館に安曇野市ならではのテーマを設定することは重要であるが、どのように進めていくのか。